

第1号様式(第5条関係)

令和4年度 指定管理者年度総合評価表

作成年月日	令和5年7月12日
-------	-----------

1 指定管理者概要

施設名	別海町営畜牛育成牧場	
所在地	別海町中西別108番地の2	
施設概要	(1)敷地面積 1,080ha (2)放牧地面積 887.5ha (3)施設 牛舎1棟、D型牛舎1棟、DH型牛舎2棟、堆肥舎1棟、堆肥場1ヶ所、作業場1棟、車庫1棟、管理棟兼住宅1棟、職員住宅2棟	
指定管理者	名称	道東あさひ農業協同組合
	代表者	代表理事組合長 浦山 宏一
	所在地	野付郡別海町別海緑町116番地の9
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日	
指定管理者の業務	(1)家畜の飼養管理、授精等に関する業務 (2)草地の維持管理及び飼料収穫調整に関する業務 (3)施設及び設備の維持管理に関する業務 (4)施設等の利用承認に関する業務 (5)利用料金の徴収に関する業務 (6)前各号に掲げるほか施設の管理のため必要な業務	
町の所管課	産業振興部農政課	
	電話	0153-74-9251(内線 1414)
	E-mail	nousei@betsukai.jp

2 指定管理者による自己評価

評価	夏季放牧では前年比28頭増の1134頭を受入れるも1農場本体でのヨーネ病発生により、早期下牧したため延頭数では前年比4,343頭減の155,805頭、冬期では前年比1,042頭増の52,418頭の実績となり、預託牛の大きな怪我・事故もなく事業を完了した。また、放牧地やパドック整備も行い飼養管理環境整備を行った。 受入れ各JAやNOSAI・家保等各関係機関と必要に応じ会議による綿密な協議・情報共有を図りながら、預託牛・放牧地の適切な管理に務めた。
今後について	持続的且つ安定的な運営が必要であることから、若手人員の確保や作業機械の更新、老朽化した牛舎周辺設備の改修など今後の取り組み方について、産業振興部農政課の意向を踏まえた運営体制の構築を検討して参りたい。

3 町(所管課)の総合評価

評価	・施設や設備の維持管理に努め、草地更新やパドック整備を計画的に行うなど預託牛の良好な受入環境の向上に努めている。 ・家畜保健衛生所や農業共済組合等の関係機関と連携を図りながら、防疫管理に努めている。今後も利用者が安心して預託できる牧場管理を継続するよう期待する。
指摘事項	特になし

4 管理運営状況に係る個別評価

評価欄への記入内容

◎： 町が示した条件や内容を上回る水準で管理運営されていた

○： 町が示した条件や内容が概ね達成されていた

×： 町が示した条件や内容が達成されていなかった

特記事項への記入内容

特記事項への記入内容は、評価が◎又は×となった項目についてのみ記載

(1)管理・運営状況

指標	評価	特記事項
開館日、開館時間の状況	○	
法令の遵守の状況	○	
適正な人員配置状況	○	
従業員の労務環境確保の状況	○	
障がい者の雇用状況(該当がある場合)	—	障害者の雇用条件なしのため対象外
従業員への教育・研修状況	○	
緊急事態への対応状況	○	
書類等の管理保存状況	○	
報告書の提出状況	○	
利用料金の取扱状況(該当ある場合)	○	
利用料金の減免状況(該当ある場合)	—	該当なし
口座管理、経理の区分状況	○	
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償状況	—	事例なし
付保する保険(保険加入を指定している場合)の状況	—	保険加入指定なしのため対象外
重要事項の変更の届出状況	○	
施設の使用許可及び使用条件等の状況	○	
施設、設備の保守管理状況	○	
備品の管理状況	○	
清掃業務、保安業務、その他必要な衛生管理業務等の状況	○	
自主事業の状況(選定時に提案があった場合のみ必須)	—	自主事業なしのため対象外
環境への配慮(町から事前に条件を示している場合のみ必須)	○	
苦情・要望等の受入体制確保の状況	○	
苦情・要望等への対応状況	○	

5 他の事業評価実施状況

(1)セルフモニタリング

自主点検状況	各種会議時に利用者や近隣預託牧場より、上牧時や下牧牛に対する意見等を踏まえ議論を行った。また、自然災害や落雷などの後の脱柵や施設状態の確認と維持改修を行った。さらに、家保やNOSAI獣医師の助言の元、野草による毒等症状の異常チェック等を行った。
--------	--

(2)定期モニタリング

定期報告状況	毎月の管理・利用状況報告及び収支管理状況を適切に報告されている。
--------	----------------------------------

(3)随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	4回	4月21日	農政課	入牧会議
		6月30日	農政課	採草作業に係る業務打合せ
		12月22日	農政課	下牧会議
		6月～10月	農政課	バイチコール等駆虫時預託牛健康チェック
	実施結果			
	各会議や打合せ業務時で情報共有と適正管理が図られた。			

(4)その他の状況

指定管理業務に関する財務状況 (計画と実績の状況)	ヨーネ病発生による夏の預託牛頭数減による収入減、コロナやウクライナ情勢による資材高騰の影響による支出の増等があったが、牧草販売の好調、冬の預託牛頭数増によって、全体収支としては51,015円増と畜牛育成牧場の収支状況は良好である。
その他の取組状況 (運営に関する工夫)	特になし